

2009年2月24日開催 第535回 番組審議会

■ 出席委員

荒巻裕委員長 櫻井美幸副委員長 上田理恵子委員 神谷徹委員
國定浩一委員 黒田勇委員 岸本卓也委員 東野博昭委員

■ 毎日放送出席者

山本会長 河内社長 田中専務 上田専務 山西常務 松島常務
西岡ラジオ局長 三村制作局長 東編成局長 熊報道局長
木田コンプライアンス室長 井口プロデューサー

◆テレビ番組「地球感動配達人 走れ！ポストマン」

1月25日(日) 22:00～22:54

第535回番組審議会は2月24日に開かれ、テレビ番組「地球感動配達人 走れ！ポストマン」の1月25日放送分を審議しました。

各委員の主な意見は次の通り。

* ソロモン諸島の実情を楽しく見た。肩が凝らずに、なおかつちょっとホロリとさせるが、親子の愛情をあまりべたべた感じさせないでさらっと描いていて楽しめる。

* 視聴者が感情移入するのは、ポストマンなのか、依頼者なのか、それとも向こうにいる人なのかというところで揺れが起こっている。そのため全部が物足りないという感じがする。

* 先方の男性はすでに再婚していることが予想できるのだから、奥さんにもう少し配慮が必要ではなかったか。

* すごく感動して、きれいな涙が流れた。ポストマンが現地に行って、どう感じたかをもっと語ってもいいのではないか。

* 知らない国の紹介は非常に興味があっていいと思うが、ナレーターが「鍵」を「キヤギ」と言うのはすごい気になる。どう受けとめていいか、わからなくなる。

* 始めから感動を全面に出すのではなく、あれこれ詰め込まず、力まずに番組を作れば、自然に感動が付いて来るのではないか。

*娘が親を想う気持ち、親が娘を想う気持ち、おばあちゃんが孫を想う気持ちが伝わり、結末に至るドラマ性もあり、素直に感動した。

*バラエティー番組は、どこまで他人の私生活に踏み込んでいいのか。番組づくりの怖さみたいなものを感じながら見た。

◆テレビ番組「VOICE」の「喫茶店廃業報道訴訟」上告審での最高裁判所決定についてコンプライアンス室長と報道局長が報告した。

以上